



「2学期のはじめに」

今年の夏休みは猛暑日が続きました。熱中症への罹患が警戒されるなか、どの部活動の生徒もよく頑張っていました。

県大会を勝ち進み、近畿大会、関西大会、全国大会へと駒を進めた生徒の皆さん、学校の部活動だけでなくクラブチームから全国大会に出場した生徒の皆さん、お疲れさまでした。校門の西側フェンスには、皆さんの出場を称える横断幕が掲げられています。

数多く部活動で入賞者を出し、優勝旗やトロフィーを勝ち取りました。努力して得られた結果は、真の自信になります。山陽中学校の名前を大いに広めてくれたことに感謝と敬意を表します。そして、試合や演奏で見せてくれた真剣な皆さんの態度に心からの賛辞をおくります。

また、たとえ敗退しても、毎日、積み重ねてきた努力は評価できます。結果がすべてではありません。お世話になっている多くの方々への感謝の気持ち、自分がやりたいと思って入部した部活動を最後まで一生懸命に取り組む態度など、先輩たちが示してくれたメッセージを1、2年生はしっかりと受け継いで、頑張ってくれています。

8月19日に実施されたPTA奉仕作業では、多くの部活動の1、2年生が参加してくれました。整列、話をきく態度、返事、作業や片付けの様子を見ても各部員の成長を感じました。他者からの指示を待たずに自主的に動く姿や、指示されたときには良い表情で対応している生徒たちの姿を見て、思わず嬉しくなりました(参加していただいた保護者や生徒の皆さん、有難うございました)。

さて、今日から2学期が始まりました。

2学期には、協力してひとつのことを創り上げる喜びや達成したときの感動を体験できる体育大会や学芸発表会などの行事があります。それは日頃の学習の発表の場であり、学級の団結力を示す場です。コロナ禍中ではできなかった、家族や地域の方々には生徒の皆さんの頑張りを見ていただく絶好の機会ですので、素晴らしいパフォーマンスを期待しています。

また、3年生にとっては進路決定の大切な時期を迎えます。たくさんの生徒が夏休みの間にオープンハイスクールに参加し、志望校を見学してきたことでしょうか。少なくとも12月には進路先を自分自身で選択しなければなりません。自分の適性や能力を活かせるかどうか、高等学校や就職先の特色、合格の可能性、進学先からの進路実績など、家族と十分に話し合いながら、担任の先生からの助言も参考にし、決めてください。そして、決定したら動じないことです。

自分自身の進路を考える上で、多くの選択肢の中からひとつを選ぶときに迷いが生じます。選択そのものに大きな意味はありません。重要なのは選択後の皆さんの対応です。選択した進路が正しいか、正しくないかを決めるのは自分自身です。進路先の名前が将来を保証してくれるものではありません。皆さんの努力の積み重ねが自分の将来につながっていきます。真面目に努力したからといって、必ず自分の望むよい結果が得られるとは限りませんが、成功の陰には、必ず粘り強く取り組んだ努力の足跡があります。「努力は裏切らない」と念じて、頑張り続けることが大切です。

それでは“自分自身を変容させることができる”と信じて、2学期も有意義な学校生活を送ってください。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる(エリック・バーン Eric Berne カナダ出身の精神科医 1910~1970)」。